

湘現会 6月 講演

テーマ***** 人生 100 年時代をどう生きるか*****

先般、湘現会の打ち合わせで“湘現会のマンネリ化を防ぐ為新しい企画を実施しよう”としてメンバーによる講演を行う事になった。第一弾として——人生 100 年時代をどう生きるか——を堀井が当たる事となった。

長寿は人類の資産 前半は話をし、後半は皆さんの討議形で進めたいと存じます。私共の社会では人の平均寿命は人生 50 年がかなり長く次第に 60 年、70 年、80 年、90 年と延び、最近ではついに 100 年の大台が話題になる様になりました。しかし人々にとって大切なのは長さもさることながら内容の濃さにあります。かつて長生きしたいと思っていた人々が 50 年時代に 100 歳まで生きたいという願望が、現実の課題になりますと今度は、100 年なんて生きたくないと言う人々が増えて参りました。人、様々であります。皆さんはいかがですか？

余り一般的には話題に上がりませんが、人生 50 年から 100 年になるのは革命的な出来事と申せましょう。世界同時ならば話題になるのでしょうか、恵まれた国だけの現象ですので先進国マターです。しかし、良くも悪くも寿命が数十年間で 2 倍長くなるのは人類にとって大きな足跡です。何かを変えれば長くなるのではなく、生活の総合的英知の結晶と申せましょう。長寿になれた人類が取組んだデータが残されているので、どの国でも長寿になれる可能性があり人類の資産と云えます。

暮らしのルネサンス 私共の人生が 100 年時代になると政府を筆頭に官の体力が衰えて国民の負担が増えましょう。私共の出来ることは今よりも沢山私共がやらねばならない社会が始まります。私共は生きる為に（今でも進んでおりますが）夫婦共働き（家計、家事、育児も夫婦と一緒に支える役割からパートナーへ）の社会となりましょう。又この湘現会の名称の生涯現役の社会も進行しましょう。（男性も女性も生活の為に働き続け、働き方は自分で決められる社会であります。）

組織（国・企業・団体）に生かされた時代から自分の生き方で暮らす時代となるのではないのでしょうか（自己責任）新しい時代への変化には勇気が必要ですが、私共の社会にはセフティネットが有るのですから様子を見るよりも積極的に良く生きる方を選び楽しく生きる時代を早く手にしたいものです。従来の生き方を越えるのが暮らしのルネサンスです。

前向きな姿勢で（自分らしく生きる） 人生 100 年時代でも個人の経済力との関連が生じます。長い老後が出来るとその暮らしを支える資金が有りや無しやとなります。具体的には生きる為に預金、債権、不動産などの活用に様々な個人の工夫が求められています。若い時から老後を考えて計画してこられた方々も多いと存じます。よく老後を考えずに今日を迎えた方は論外ですが、特殊な能力で乗り越えられる方もおられるでしょう。問題は計画が特別のアクシデントで崩れたケースです。それでも老後は参ります。ただ社会では老後の資金や資産が無くなり、死亡したと云う情報はそんなに多くは無いので、若い時の蓄えを崩し、場合によっては子供の支援で暮らされる方もおられるでしょう。

老後は一人でも、御夫婦でも自分達だけでは生きられない時期を迎えます。老後の生活環境としては周囲（家族も含む）の方や少数の仲間達と親しく暮らすことが一般的です。御自身らしく暮らせれば、生活の変化を拒否せず積極的に受け入れる勇氣も生まれます。老後に限りませんが暮らしを前向きに自分らしく楽しく生きることが大切です。人口も国民所得も永遠に成長する訳ではありません。私達が年老いるのと同様です。生まれれば終わりが参ります。終わり方が次に繋がれば私達の役目は果たせます。

人生 100 年時代は生きる時間が従来より 2~30 年長くなります。この長くなった時間を私達は単に生きるだけでなく、いかに自分や社会にとって有益に使えるか、考えるだけでなく実行する人の数でこれまでにないユニークな時代が生まれると存じます。

あなたは今どう生きてますか！

2018 年 6 月.

湘現会顧問

(株) アプルール

堀井 利修